

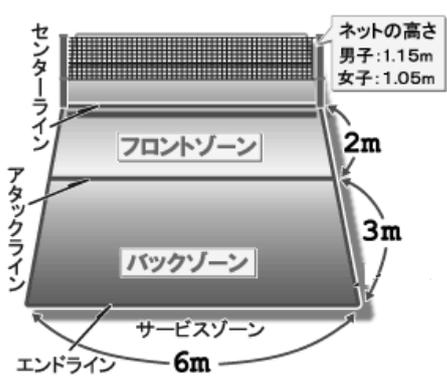
(様式3)

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【 姫路市立夢前中学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	第2学年 男女180名 (うち男子92名は授業を実施)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 (講演会・シッティングバレー体験) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	シッティングバレーの授業や講演会・体験を通じて、パラスポーツの魅力を感じることにより、障害の有無に関わらず、共に協力し支え合いながら生活をすることの重要性に気づき、共生社会に向けてのノーマライゼーションを推進する。また、そのためのコミュニケーション力の向上を目指す。
5 取組内容	<p>■授業計画 (シッティングバレー)</p> <p>第2学年男子 92名 9月末～10月中旬に8時間実施</p> <p>①オリエンテーション、コート設営、基本動作 (移動、パス) ②～④パス練習 1人、2人組、4人組 サーブ・アタック練習、ルール変更協議 ⑤チーム分け、チーム (8～9人) 練習、プレイ試合、ルール追加変更協議 ⑥⑦実技テスト (サーブ、二人一組でのパス交換) ⑧リーグ戦、試合運営、まとめ、振り返り</p>  

■西家道代さん講演会 11月28日 2学年男女180名

シッティングバレー女子日本代表主将による講演会ならびにシッティングバレー体験

演題「あきらめない心」・・・1時間

体験会・・・1時間

(内容) 机エントーン・移動練習・グループでのパス練習・試合・質疑応答



■生徒感想文を講師先生（西家道代さん）へ 12月中旬

■オリパラ掲示板設置、資料の継続的な掲示



6 主な成果

授業を行うことで、生徒のパラスポーツならびに障害者への理解が深まった。コミュニケーション力が伸び、障害の有無に関わらず、人とつながることの喜びや互いに足らずを補い合いながら生活することの大切さを学んだ。

また、パラリンピアン西家道代さんとの触れあいにより、パラリンピックへの興味関心も高まった。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

多くの学校で実施しやすいように、用具を特別に準備せず、ポールとネットはバドミントンのものを使用。下半身を床から離せず移動が難しいため、ルールを簡易的にし、コミュニケーション機会を増やすため、全員で声を出しながら移動、プレーをさせた。年間指導計画に組み込み、授業内で実技テスト(サブ、対人パス)も行い評価した。道徳や総合での単発型体験ではなく、生徒の継続的な学びの中での成長を重要視した。

8 主な課題等

特記事項なし

9 来年度以降の実施予定

形を変える可能性があるが、来年度もパラスポーツの実施もしくは体験をさせる方向で検討中。西家道代さん、シッティングバレー、およびパラスポーツに関する情報については、随時紹介、掲示等を続けていく予定。